

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

まち・ひと・しごと創生 輪之内町総合戦略推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

岐阜県安八郡輪之内町

3 地域再生計画の区域

岐阜県安八郡輪之内町の全域

4 地域再生計画の目標

2010年まで増加を続け、10,000人を超過した(10,028人)本町の人口も、住民基本台帳によると2022年には9,337人となっており、増加傾向であった人口は減少期に入った。国立社会保障・人口問題研究所の将来推計では、2045年には約8,600人、2060年には約8,000人となることが予想されている。

年齢3区分別人口を見てみると、当町では0～14歳の子ども的人数(年少人口)は近年ほぼ横ばいではあるが、65歳以上の高齢者人口(老年人口)が増加し続け、15～64歳人口(生産年齢人口)が2015年に増加傾向から減少へと転じた。具体的には、2010年時点で年少人口1,605人、老年人口1,989人、生産年齢人口6,414人であったものが、2022年にはそれぞれ1,193人、2,555人、5,589人となっており、高齢化が進行していることがわかる。

自然増減をみてみると、2008年度以来出生数が死亡数を上回るか、わずかに死亡数が上回る状況であったが、2017年度には出生数63人、死亡数102人と39人の大幅な自然減少となった。2022年には出生数50人、死亡数99人で、49人の自然減となっている。また、本町の出生率は減少傾向にあり、2003年以降全国平均を上回っていた出生率は2017年には全国平均を下回る結果となった。なお、本町の合計特殊出生率については、2021年には0.95となっている。

人口の社会動態をみてみると、2013年には転入者(394人)が転出者(326人)を上回る社会増(68人)であったが、雇用の場が少なく、進学や就職を機に町外

へ転出したまま戻らない若者が増加したことで、2022年には転出者数419人、転入者数277人で、142人の社会減となっている。

今後も人口減少及び少子高齢化が進むことで、社会保障費の負担増や地域コミュニティの縮小といった、住民生活への様々な影響が懸念される。

これらの課題に対応するため、今後本町を担う若い世代が、結婚に対し希望を持ち、安心して出産、子育てに臨めるよう不安を解消し、若い世代の人口流出を抑制する必要がある。また、出産や、子育て、教育の場として魅力的なまちづくりを進めることにより、子育て世代の増加やそれに伴う出生率の増加をめざしていく。

さらに、本町に新しいひとの流れをつくるために、本町の魅力を伝え、訪れる人を増やし、来たい、住んでみたいと思えるまちづくりを推進していく。今後の高齢化を見据えながら、全ての人が安全・安心で笑顔で生活を送ることができるまちづくりを目指し、心身の健康づくりや、快適な交通環境づくりの必要がある。人口減少と地域経済の克服のため、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目標とし、地方創生を進化させていくことが重要である。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げる。

- ・基本目標1 安心して子供を生み育てやすい環境づくり
- ・基本目標2 輪之内町への人の流れをつくり、安定した雇用を創出する
- ・基本目標3 誰もが健康で安心して暮らすことができる環境をつくる
- ・基本目標4 広域連携による魅力あるまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げる事業	KPI	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	合計特殊出生率	1.5人	1.6人	基本目標1
	三世代同居率	20.2%	24.0%	
	女性(15~64歳)の就業率	67.2%	70%	

イ	若年世代の就業率	61.6%	65%	基本目標 2
	町の企業誘致による雇用創出数	123人	140人	
	1人あたりの市町村民所得	2,866千円	2,900千円	
	2020年から2024年の5年間の転入転出バランス	-229人	0人	
ウ	要介護認定率	15.9%	14.0%以下	基本目標 3
エ	西美濃圏域の観光消費額	27,510,000千円	27,510,000千円以上	基本目標 4
	西美濃地域の製造業従業者数	48,675人	48,675人以上	

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

まち・ひと・しごと創生 輪之内町総合戦略推進事業

ア 安心して子供を産み育てやすい環境づくり事業

イ 輪之内町への人の流れをつくり、安定した雇用を創出する事業

ウ 誰もが健康で安心して暮らすことができる環境をつくる事業

エ 広域連携による魅力あるまちづくり事業

② 事業の内容

ア 安心して子供を産み育てやすい環境づくり事業

若い世代の出会いの場をつくり、独身男女の結婚への希望をかなえ、

さらに出産・子育てを安心してできる環境を整える。

また、子育て家庭を応援し、安心して子どもを産み育てることができ
る環境づくり、出産・子育てにおいて、切れ目のない支援を行う。

子育て世代の経済的負担を軽減するとともに、子育てに関する支援の
充実を図る。

子どもたちが未来に夢と希望を持ち、生きる力を育み、健やかに成長
できるよう、教育環境の充実、経済的負担の軽減を図る。

【具体的な事業】

- ・婚活サポート事業
- ・不妊治療費助成事業
- ・高校生バス定期券購入支援事業
- ・学校ICTの推進事業 等

イ 輪之内町への人の流れをつくり、安定した雇用を創出する事業

輪之内町に住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりを行う。

しごとをつくるための町内の企業誘致を推進し、しごとを起こしたい、
しごとに就きたい人を支援する。

町民が誇りに感じることができ、対外的にもアピールできる歴史や資
源を洗い出し、PRしていく。

近隣地域との差別化をはかるとともに、県の企業誘致戦略、雇用力が
高い業種、将来性等の基準で誘致企業、ターゲットとするエリアを絞り
込むとともに、工業用地等を確保する。

【具体的な事業】

- ・住宅建設補助
- ・企業誘致事業
- ・町観光誘客促進事業 等

ウ 誰もが健康で安心して暮らすことができる環境をつくる事業

高齢者をはじめ、住民の誰もが健康で安心して暮らすことができ
るよう、健康づくりを推進する。

全ての人々が安心して快適に暮らせるよう、公共交通の利便性を図り、
より快適な交通環境づくりを進める。

【具体的な事業】

- ・ 一般介護予防事業
- ・ 各種健康診断実施事業
- ・ デマンドバス利用金助成事業 等

エ 広域連携による魅力あるまちづくり事業

西美濃地域の市町をはじめ、産業や教育等の幅広い主体との連携を通じて、地域全体の企業の経営基盤強化や雇用機会の創出、産業の振興、広域観光の推進、移住定住の促進に向けて、地域資源の利活用や企業の相談体制の充実、創業支援、地域の情報発信等の取組を進める。

【具体的な事業】

- ・ 西美濃地域の市町による連携
- ・ 地域産業の育成による雇用の創出 等

※ なお、詳細は「第2次輪之内町まち・ひと・しごと創生総合戦略」のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

150,000千円（2022年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度3月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで